

## ダイヤアールストーン主材早見換算表

色	一段目			二段目			所要量 (kg)	100㎡の場合		300㎡の場合		比率	
	下吹	ちらし吹	上吹(もどし吹)	下吹	ちらし吹	もどし吹		所要量 (kg)	缶数	所要量 (kg)	缶数		
S工法	単	3.5~4.0		1.0~1.5			4.5~5.5	450~550	23~28	1,350~1,650	68~83		
W工法	目地なし	A	1.5~2.0		1.0~1.5		2.5~3.5	250~350	13~18	750~1,050	38~53	5	
		B	1.5~2.0					1.5~2.0	150~200	8~10	450~600	23~30	3
	一段目地	A	1.0~1.25	0.5~0.75	1.0~1.5			2.5~3.5	250~350	13~18	750~1,050	38~53	5
		B	1.0~1.25	0.5~0.75				1.5~2.0	150~200	8~10	450~600	23~30	3
	二段目地	A	1.0~1.25	0.5~0.75	1.0~1.5	1.0~1.25	0.5~0.75	1.0~1.5	5.0~7.0	25~35	1,500~2,100	75~105	5
		B	1.0~1.25	0.5~0.75		1.0~1.25	0.5~0.75		3.0~4.0	300~400	900~1,200	45~60	3

\*S工法には二段目地仕様はありません。 \*色別使用材料内分の比率は下限所要量を基準に換算しています。  
\*所要量に対する缶数は、端数を切り上げ算定しています。

## 色番号

S工法		W工法	
標準色	使用材料色	標準色	使用材料色
S-301	S-301	W-360	A A-33
S-303	S-303		B A-18
S-304	S-304	W-361	A A-18
S-305	S-305		B A-34
S-306	S-306	W-362	A A-47
S-307	S-307		B A-49
S-308	S-308	W-363	A A-17
S-309	S-309		B A-19
S-310	S-310	W-364	A A-46
S-311	S-311		B A-50
S-312	S-312	W-365	A A-1
S-313	S-313		B A-3
S-315	S-315	W-371	A A-11
S-318	S-318		B A-2
S-319	S-319	W-372	A A-5
S-335	S-335		B A-31
S-336	S-336	W-373	A A-7
S-337	S-337		B A-9
S-338	S-338	W-374	A A-22
S-339	S-339		B A-24
S-340	S-340	W-375	A A-26
S-341	S-341		B A-28
S-342	S-342	W-376	A A-40
S-343	S-343		B A-43
S-344	S-344	W-377	A A-45
S-345	S-345		B A-31
S-346	S-346		
S-347	S-347		
S-348	S-348		

※ W工法のもどし吹きに使用する材料色はA色(上段)です。ご注意ください。

## 包装単位

- ダイヤ目地下塗材…………… 20kg缶
- ダイヤアールストーン 主材…………… 20kg缶
- ダイヤピフレッシュシリコン艶消しクリヤー…………… 15kg缶
- ダイヤ目地棒(2mm厚×長さ1m) …… 幅5mm 100本入  
幅7mm 100本入  
幅10mm 100本入  
幅15mm 100本入



# DIA

天然石調厚付け多彩模様仕上塗材

# ダイヤアールストーン

F☆☆☆☆

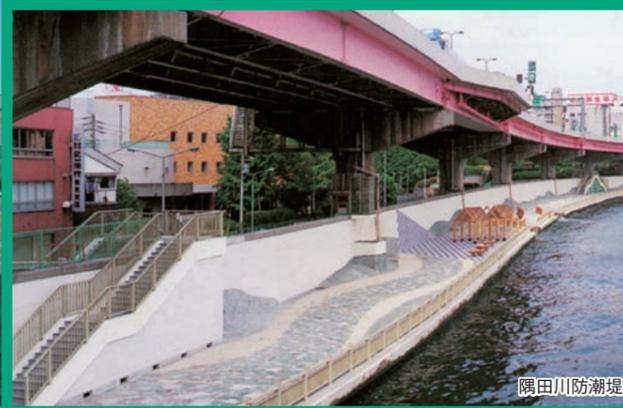
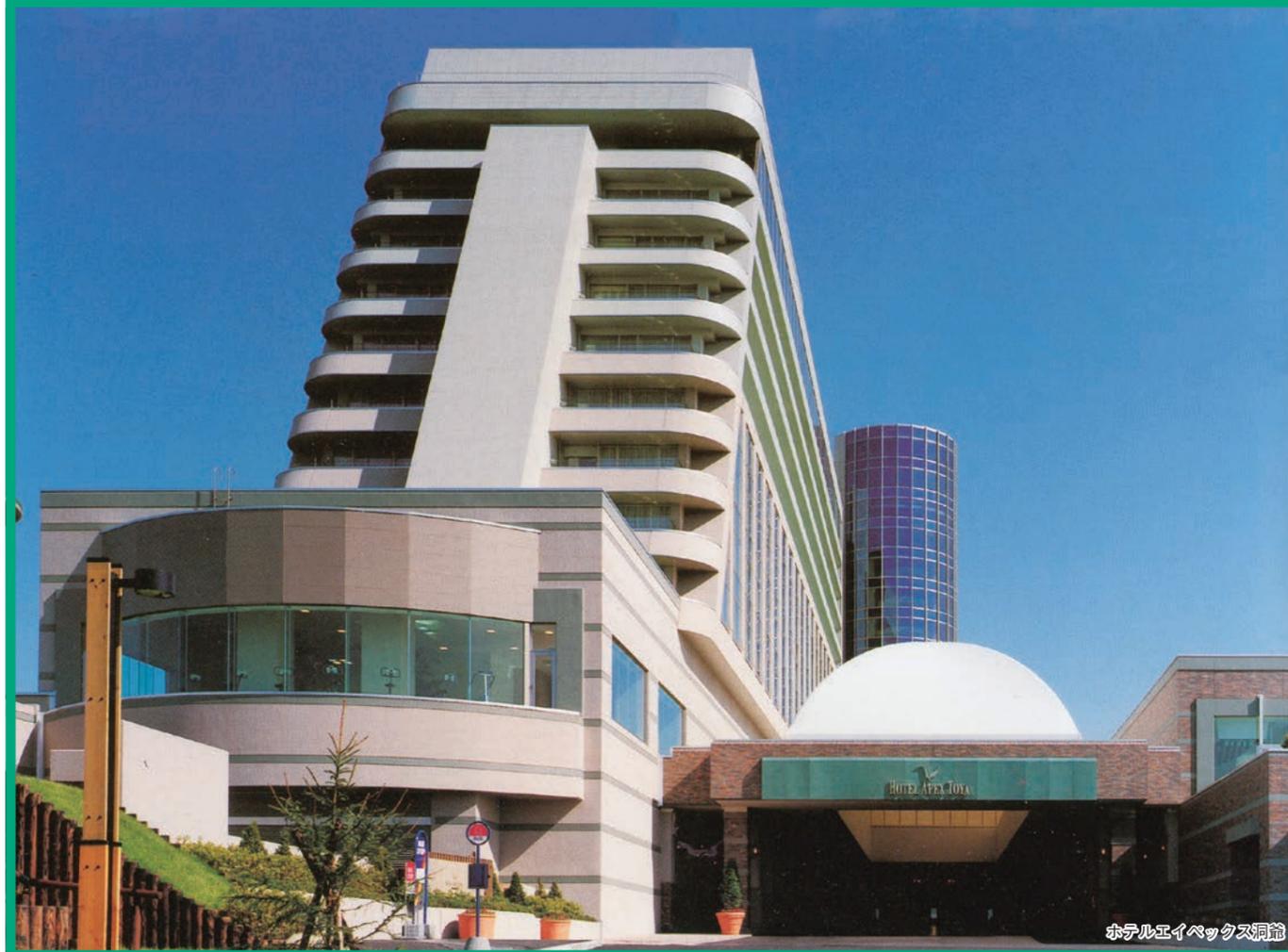
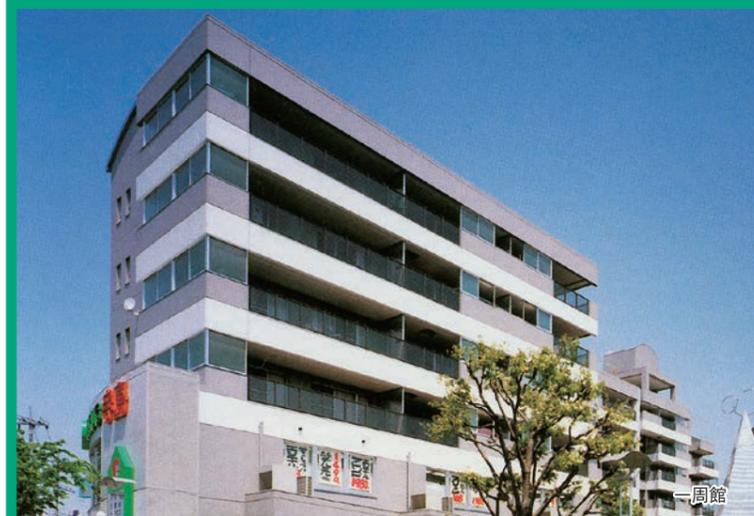
**株式会社 ダイフレックス**  
DYFLEX

〒163-0825 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル  
☎ (03) 5322-7020 FAX. (03) 5322-7021  
URL <http://www.dia-dyflex.jp>

※ 全国の最寄りの支店・営業所をご案内致します。お気軽にお問い合わせ下さい。

取扱店

高級感あふれる天然石調の肌ざわり、  
建築物、構築物を華麗に  
そして重厚な演出を約束する仕上げ塗材です。



ダイヤールストーンは、  
耐久性の優れたアクリル系エマルジョンと  
無機着色骨材を組合せた  
天然石調内外厚付け仕上げ塗材です。  
目地棒を採用することにより格調高い石積み  
独特の量感と風合いを実現しました。

# 特長

- 天然石の持つ重厚感と美しさを簡単に創り出せます。
- 目地色と模様吹きで、多彩な組合せが可能です。
- コーナー、アール部も容易に施工できます。
- 目地からの遊離石灰による白華がありません。
- 無機着色骨材を使用していますので、変退色がほとんどありません。

# 用途

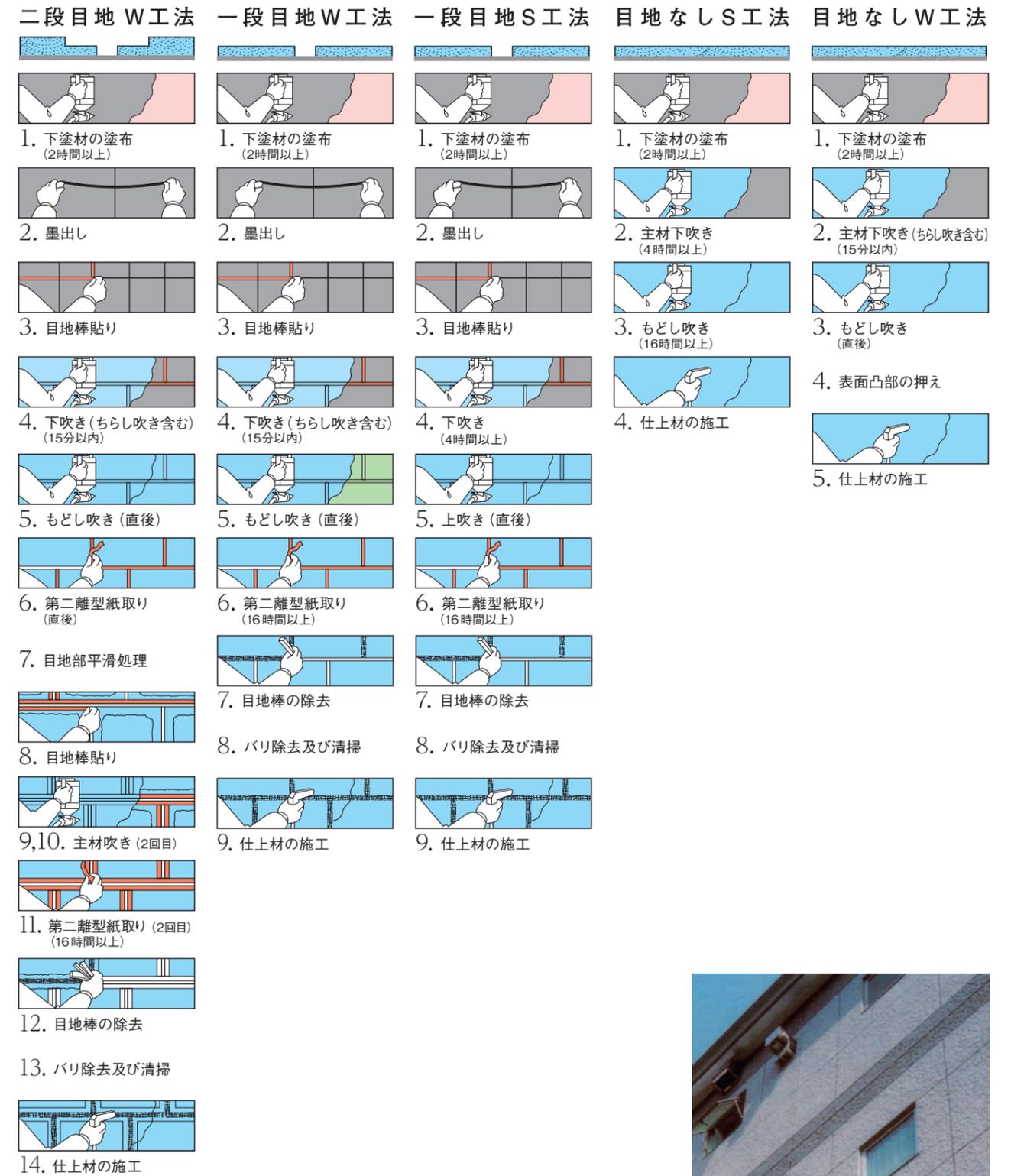
- ビル、マンション、ホテルの内外壁に
- 個性的な戸建住宅に
- 美術館、音楽ホールの内壁画など高級なイメージを必要とする建物に

# 適応下地

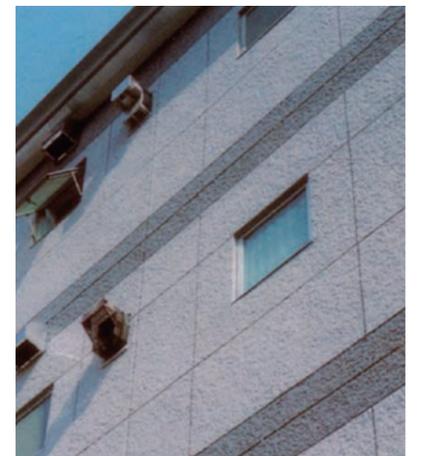
コンクリート、セメントモルタル金ごて押え、PC板、  
コンクリートブロック（但し下地調整要）



# 施工手順



鳥居田橋景観工事



# 施工仕様

## 二段目地W工法 (A,B色仕上げ) 厚み約7mm

工 程	材 料	調合割合	所要量 (吹付け器具)	塗回数		間隔時間	
				工程内	工程間		
1	下塗材の塗布 ダイヤ目地下塗材 清 水	20kg 1.0~2.0%	0.6~0.8kg/m <sup>2</sup> (25~33m <sup>2</sup> /缶)	1	—	5時間以上	
2	墨出し	指定通りの目地割付になるように寸法を確認して墨打ちします。 水平線・垂直線は基準となる為、正確を期して下さい。					
3	目地棒貼り	墨打ちの線に沿って、目地棒を左右、上下とも両端を合わせて貼り付けます。					
4	主材吹き (下吹)	ダイヤアルストーン主材 (A,B色) 清 水	20kg 0.8~1.2%	2.0~2.5kg/m <sup>2</sup> (ストーンガンW)	1	—	15分以内
	(ちらし吹)	ダイヤアルストーン主材 (A,B色) 清 水	20kg 0.8~1.2%	1.0~1.5kg/m <sup>2</sup> (ストーンガンW)	1	—	15分以内
5	主材吹き (もどし吹)	ダイヤアルストーン主材 (A色) 清 水	20kg 0.5~1.0%	1.0~1.5kg/m <sup>2</sup> (タイルガン)	1	—	直 後
6	第二離型紙取り	主材下吹直後、第二離型紙をゆっくりと剥がします。					
7	目地部平滑処理	目地棒を中心として5cm巾で、表面を平滑にします。					
8	目地棒貼	平滑に仕上げた目地部の両サイドに沿って目地棒を貼り付けます。					
9	主材吹き (下吹)	ダイヤアルストーン主材 (A,B色) 清 水	20kg 0.8~1.2%	2.0~2.5kg/m <sup>2</sup>	1	—	15分以内
	(ちらし吹)	ダイヤアルストーン主材 (A,B色) 清 水	20kg 0.8~1.2%	1.0~1.5kg/m <sup>2</sup> (ストーンガンW)	1	—	15分以内
10	主材吹き (もどし吹)	ダイヤアルストーン主材 (A色) 清 水	20kg 0.5~1.0%	1.0~1.5kg/m <sup>2</sup> (タイルガン)	1	—	直 後
11	第二離型紙取り	主材もどし吹直後、第二離型紙をゆっくりと剥がします。					
12	目地棒の去	一段目、二段目の目地棒を取り除きます。					
13	バリ除去	目地部のバリを除去し清掃します。					
14	仕上材の施工	ダイヤビフレッシュシリコン 艶消しクリアー 清 水	15kg 0~7%	0.3~0.4kg/m <sup>2</sup>	2	2時間以上	—

## 一段目地W工法 (A,B色仕上げ) 厚み約4mm

工 程	材 料	調合割合	所要量 (吹付け器具)	塗回数		間隔時間	
				工程内	工程間		
1	下塗材の塗布 ダイヤ目地下塗材 清 水	20kg 1.0~2.0%	0.6~0.8kg/m <sup>2</sup> (25~33m <sup>2</sup> /缶)	1	—	5時間以上	
2	墨出し	指定通りの目地割付になるように寸法を確認して型打ちします。 水平線・垂直線は基準となる為、正確を期して下さい。					
3	目地棒貼	墨打ちの線に沿って、目地棒を左右、上下とも両端を合わせて貼り付けます。					
4	主材吹き (下吹)	ダイヤアルストーン主材 (A,B色) 清 水	20kg 0.8~1.2%	2.0~2.5kg/m <sup>2</sup> (ストーンガンW)	1	—	15分以内
	(ちらし吹)	ダイヤアルストーン主材 (A,B色) 清 水	20kg 0.8~1.2%	1.0~1.5kg/m <sup>2</sup> (ストーンガンW)	1	—	15分以内
5	主材吹き (もどし吹)	ダイヤアルストーン主材 (A色) 清 水	20kg 0.5~1.0%	1.0~1.5kg/m <sup>2</sup> (タイルガン)	1	—	直 後
6	第二離型紙取り	主材もどし吹直後、第二離型紙をゆっくりと剥がします。					
7	目地棒の去	目地棒を取り除きます。					
8	バリ除去	目地部のバリを除去し清掃します。					
9	仕上材の施工	ダイヤビフレッシュシリコン 艶消しクリアー 清 水	15kg 0~7%	0.3~0.4kg/m <sup>2</sup>	2	2時間以上	—

## 一段目地S工法 (単色仕上げ) 厚み約4mm

工 程	材 料	調合割合	所要量 (吹付け器具)	塗回数		間隔時間	
				工程内	工程間		
1	下塗材の塗布 ダイヤ目地下塗材 清 水	20kg 1.0~2.0%	0.6~0.8kg/m <sup>2</sup> (25~33m <sup>2</sup> /缶)	1	—	5時間以上	
2	墨出し	指定通りの目地割付になるように寸法を確認して墨打ちします。 水平線・垂直線は基準となる為、正確を期して下さい。					
3	目地棒貼	墨打ちの線に沿って、目地棒を左右、上下とも両端を合わせて貼り付けます。					
4	主材吹き (下吹)	ダイヤアルストーン主材 清 水	20kg 0.6~0.8%	3.5~4.0kg/m <sup>2</sup> (タイルガン)	1	—	4時間以上
5	主材吹き (上吹)	ダイヤアルストーン主材 清 水	20kg 0.6~0.8%	1.0~1.5kg/m <sup>2</sup> (タイルガン)	1	—	直 後
6	第二離型紙取り	主材上吹直後、第二離型紙をゆっくりと剥がします。					
7	目地棒の去	目地棒を取り除きます。					
8	バリ除去	目地部のバリを除去し清掃します。					
9	仕上材の施工	ダイヤビフレッシュシリコン 艶消しクリアー 清 水	15kg 0~7%	0.3~0.4kg/m <sup>2</sup>	2	2時間以上	—

## 目地なしS工法 (単色仕上げ) 厚み約4mm

工 程	材 料	調合割合	所要量 (吹付け器具)	塗回数		間隔時間	
				工程内	工程間		
1	下塗材の塗布 ダイヤ目地下塗材 清 水	20kg 1.0~2.0%	0.6~0.8kg/m <sup>2</sup> (25~33m <sup>2</sup> /缶)	1	—	5時間以上	
2	主材吹き (下吹)	ダイヤアルストーン主材 清 水	20kg 0.6~0.8%	3.5~4.0kg/m <sup>2</sup> (タイルガン)	1	—	4時間以上
3	主材吹き (上吹)	ダイヤアルストーン主材 清 水	20kg 0.6~0.8%	1.0~1.5kg/m <sup>2</sup> (タイルガン)	1	—	16時間以上
4	仕上材の施工	ダイヤビフレッシュシリコン 艶消しクリアー 清 水	15kg 0~7%	0.3~0.4kg/m <sup>2</sup>	2	2時間以上	—

## 目地なしW工法 (A,B色仕上げ) 厚み約4mm

工 程	材 料	調合割合	所要量 (吹付け器具)	塗回数		間隔時間	
				工程内	工程間		
1	下塗材の塗布 ダイヤ目地下塗材 清 水	20kg 1.0~2.0%	0.6~0.8kg/m <sup>2</sup> (25~33m <sup>2</sup> /缶)	1	—	5時間以上	
2	主材吹き (下吹)	ダイヤアルストーン主材 (A,B色) 清 水	20kg 0.8~1.2%	3.0~4.0kg/m <sup>2</sup> (ストーンガンW)	1	—	15分以内
3	主材吹き (もどし吹)	ダイヤアルストーン主材 (A色) 清 水	20kg 0.5~1.0%	1.0~1.5kg/m <sup>2</sup> (タイルガン)	1	—	16時間以上
4	表面凸部の押え	表面凸部を約30%程度押えます。					
5	仕上材の施工	ダイヤビフレッシュシリコン 艶消しクリアー 清 水	15kg 0~7%	0.3~0.4kg/m <sup>2</sup>	2	2時間以上	—

※間隔時間は、標準状態(23℃、50%RH)での時間を示します。  
 ※施工に関する詳細は、別途「標準施工仕様書」をご参考願います。  
 ※オプショ仕様としてダイヤビフレッシュタイルクリアー艶消し仕様もあります。  
 (希釈剤 ダイヤシンナーPS)  
 ※平滑処理をサンダーで行った場合は、仕上材にダイヤビフレッシュタイルクリアーをご使用下さい。

# 試験成績表

試験項目	品質基準	結 果	試験方法
塗装作業性	吹付作業に支障のないこと	良 好	JIS K 5600-1-1：1999 4.9による
塗膜の外観	見本品に比べて、流れ・割れ・色模様・凹凸の差異が少なく、むら・穴の程度が大きくないこと	異常なし	JIS K 5600-1-1：1999 4.4による
低温安定性	塊がなく、組成物の分離・凝集がないこと	異常なし	JIS A 6909：2003 7.5による
初期乾燥によるひび割れ抵抗性	ひび割れがないこと	異常なし	JIS A 6909：2003 7.8による
付着強さ	標準状態	0.5N/mm <sup>2</sup> 以上	JIS A 6909：2003 7.9による
	浸水後	0.3N/mm <sup>2</sup> 以上	
温冷繰り返し作用に対する抵抗性	試験体の表面に、ひび割れ、はがれ及び膨れがなく、かつ、著しい変色及び光沢低下がないこと	異常なし	JIS A 6909：2003 7.10による
透水性 B法	0.5ml以下	0.30ml	JIS A 6909：2003 7.12による
耐衝撃性	ひび割れ、著しい変形及びはがれがないこと	異常なし	JIS A 6909：2003 7.14による
耐アルカリ性 A法	ひび割れ、はがれ、膨れ軟化溶出がなく、浸さない部分に比べて、くもり及び変色が著しくないこと	異常なし	JIS A 6909：2003 7.15による
耐洗浄性	はがれ及び摩耗による基板の露出がないこと	異常なし	JIS A 6909：2003 7.13による
耐候性 A法	WS型ウエザーマーターで2000時間照射しても、割れ・ふくれ・剥がれ白亜化がなく、見本品に比べて色の変化が大きくないこと (グレースケールで3以上)	異常なし	JIS A 6909：2003 7.18による

### 《安全衛生上の注意》

- 取扱いは、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク、保護メガネ、保護手袋を着用して下さい。
- 取扱後は、手洗い及びうがいを行って下さい。
- 子供の手の届かない所に保管して下さい。
- 塗装・洗浄・乾燥等を行う取扱作業場所では局所排気装置を設け、作業中・作業後も充分換気を行って下さい。
- 容器からこぼれた場合には、砂等を散布した後処理して下さい。
- 目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- 皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けて下さい。
- 臭い、蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の判断を受けて下さい。
- 中身を使い切ってから廃棄して下さい。
- 廃塗材、廃容器、洗浄水等は、産業廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。
- 安全衛生上の詳細な注意点については安全データシート(SDS)をご確認下さい。
- 冬期・低湿時の施工で水系下塗材(シーラー)を用いた場合、乾燥が遅くなるため仕上がりにムラを生じる事があります。状況に応じて溶剤系下塗材(シーラー)を使用して下さい。
- 常に結露が発生する地域・時期での施工は避けて下さい。
- 仕上材(トップコート)の施工にはシンガンを用いず、必ずエアースプレーガン、等を使用して下さい。
- 2液反応硬化形溶剤系仕上材を使用する場合には、可使時間中に使い切る量を混合、使用下さい。
- 工程間隔時間は充分取って下さい。
- 特に溶剤系塗料は、消防法及び危険物取締条例等関係法令に準拠し、防火、消火、安全衛生等に備えるとともに正しい使用により施工して下さい。
- 安全衛生上の注意事項については、容器の表示も合わせてご参照下さい。
- 材料の保管は気温5~35℃で、密封のまま直射日光を避け、屋内に貯蔵して下さい。長期貯蔵したものは十分攪拌し、変質の有無を確認して下さい。
- シーリング材の上に施工することは避けてください。汚染、ひび割れ、剥離などの不具合が発生するおそれがあります。必要上塗布する場合は、シーリング材との塗り重ね適合性を充分確認のうえ施工して下さい。
- 改修工事の場合は、別途ご相談下さい。
- 大面積の場合、設計段階で許される範囲内で、できるだけ目地を設けるようにして下さい。
- 大面積の場合、躯体目地を利用して下さい。躯体目地に沿ってテープ養生し、1スパン毎に仕上げして下さい。隣接する仕上がり面に施工しないように、アテ板養生又は逆養生を行って下さい。
- 大面積の場合、テープ等により、目地を設けて下さい。水平及び垂直にテープ等を貼り付けて、目地を設けた後、逆養生してスパン毎に施工して下さい。
- 本施工に入る前に試験吹きを行い、吹き付けのタイミング、粘度、塗布量などをチェックし、仕上がりムラにならないよう確認して下さい。
- 下吹きは、下地が均一に濡れるように吹き付けます。この際、材料を吹き過ぎて濡れないようにして下さい。
- 上吹きは仕上げ吹きですから、山立ちをそろえながらムラなく廻し吹きし、やや厚めに吹き付けて下さい。
- 上吹き材の薄め過ぎ、圧力の上げ過ぎ等は粗目の骨材がのらない原因となります。
- 有色骨材による色調のため、見本と実際の仕上がり色とは多少異なる場合があります。
- その施工仕様については、別途施工仕様書をご参照下さい。
- 材料は使用前に、電動ミキサー等で十分に攪拌下さい。
- 施工・管理上の詳細な注意点については仕様書をご確認下さい。

### 《施工・管理上の注意》

- セメント質下地は、表面の含水率が10%以下(pH10以下)になるまで放置して下さい。コンクリート下地は、夏期で2週間、冬期で3週間モルタル下地は、夏期で1週間、冬期で2週間以上乾燥が必要です。
- 材料が付着乾燥しますと取れませんが、塗布面周辺の養生を完全に行い、施工時建物の周辺に飛散ないようにして下さい。養生テープは塗膜圧を考慮して、強度の高いものを使用して下さい。
- コンプレッサーは必要十分な能力以上のものをご使用下さい。
- 下地は十分に乾燥してから施工して下さい。乾燥不十分の場合、色ムラ、剥離等の生じる原因となります。
- 金属下地及び釘頭などの上に施工する場合、必ず防錆処理を行って下さい。
- 施工にあたっては同一ロット、同一方法で、入り隅、出隅等見切りの良いところまで仕上げして下さい。同一壁面途中での塗り継ぎは色違いやムラの原因になります。
- 気温5℃以下、湿度85%以上または降雨、降雪、強風の場合は施工を避けて下さい。白化や色ムラが発生し、壁面に残る場合があります。また作業後に、降雨、降雪の恐れがある時は雨(雪)養生をして下さい。なお、夜間の気温が氷点下になる恐れがある場合は、午後3時頃までに作業を打ち切るようにして下さい。
- 施工後24時間以内の降雨、常に結露が発生する地域・時期での施工は避けて下さい。結露等水の影響で白化や色ムラが発生し、壁面に残る場合があります。